

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年12月24日

計画の名称	広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）														
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	広島県,東広島市														
計画の目標	台風・南海トラフ巨大地震などの災害に備え、特に高潮・津波の被害が懸念される広島沿岸において、社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,843	A	2,843	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年度当初		令和11年度末
1	事業実施する地区海岸における防護達成面積を532ha（R7）から648ha（R11）へ引き上げる。（重点計画分を含む）			
	防護達成面積 防護達成面積＝防護面積×（対策完了延長／要対策延長）	532ha	ha	648ha
2	事業実施する地区海岸における防護達成人口を26,243人（R7）から30,451人（R11）へ引き上げる。（重点計画分を含む）			
	防護達成人口 防災達成人口＝防災人口×（対策完了延長／要対策延長）	26243人	人	30451人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
広島県強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：すべて												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	土生港海岸	護岸（改良）L=150m	尾道市	■	■	■	■	■	400		－
	A09-002	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	大竹港海岸	護岸（改良）L=260m	大竹市	■	■	■	■	■	400		－
	A09-003	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	蒲刈港海岸	護岸（改良）L=160m	呉市	■	■	■	■	■	240		－
	A09-004	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	御手洗港海岸	護岸（改良）L=50m 他	呉市	■	■	■	■	■	210		－
	A09-005	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	三高港海岸	護岸（改良）L=331m	江田島市	■	■	■	■	■	270		－
	A09-006	海岸	一般	東広島市	直接	東広島市	高潮	港湾	安芸津港海岸	排水機 N＝2 基 他	東広島市	■	■	■	■	■	350		－
	A09-007	海岸	離島	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	木江港海岸	護岸（改良）L=110m	大崎上島町	■	■	■	■	■	140		－
A09-008	海岸	離島	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	大西港海岸	護岸（改良）L=150m 他	大崎上島町	■	■	■	■	■	300		－	
A09-009	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	竹原港海岸	護岸（改良）L=1,010m	竹原市		■	■	■	■	403		－	

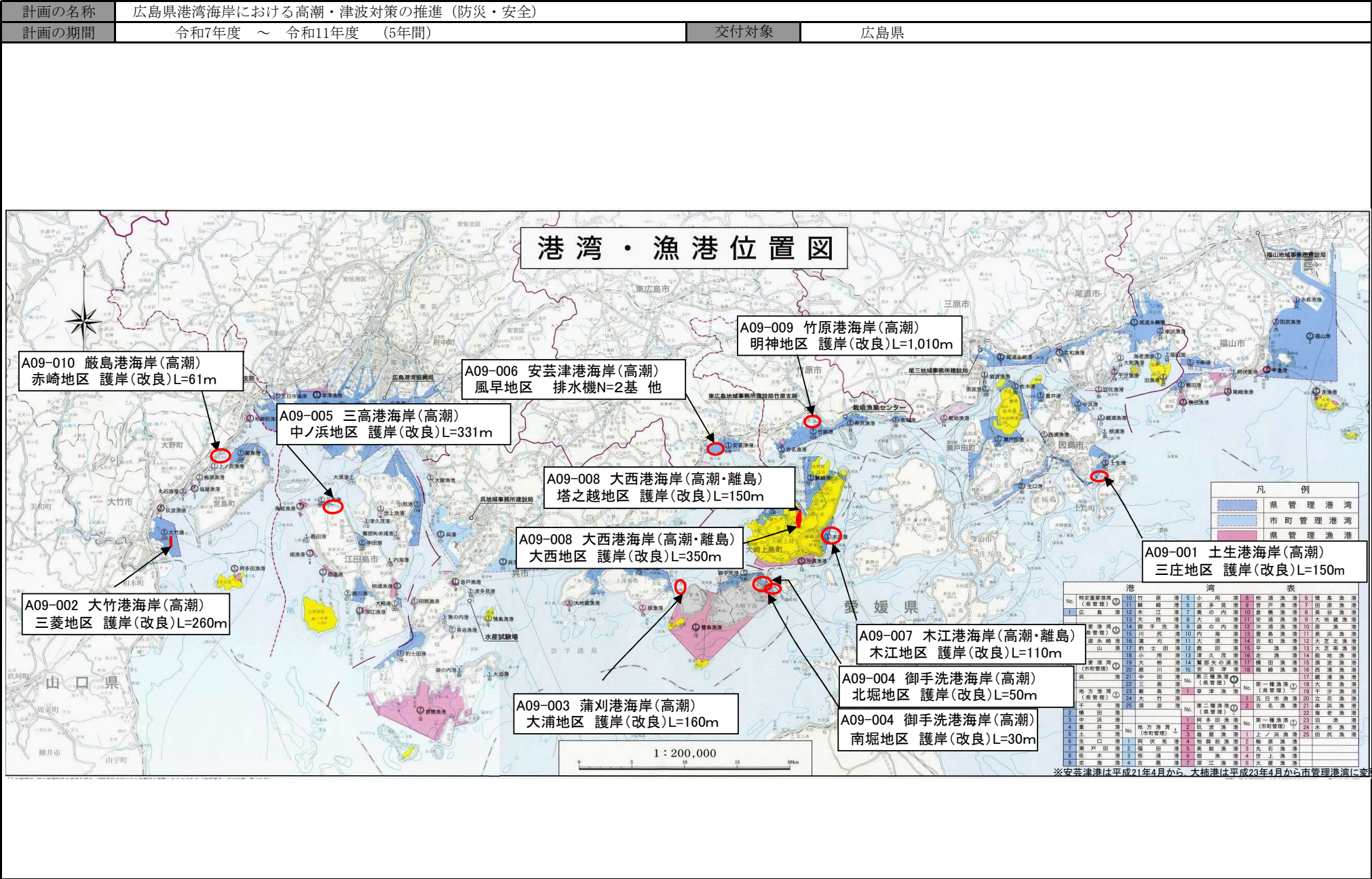
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-010	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	厳島港海岸	護岸（改良）L=61m	廿日市市		■	■	■	■	130		－
											小計						2,843		
											合計						2,843		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	166				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	166				
前年度からの繰越額 (d)	128				
支払済額 (e)	200				
翌年度繰越額 (f)	94				
うち未契約繰越額(g)	37				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	12.58				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係者調整のため				

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性（計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備といった地域の課題に適切に対応するものとなっている。）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等（事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。）	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（【1】事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。）	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（【2】隣接する海岸と整合した整備が行われている。（又は整備予定））	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（【1】住民等の合成形成が整っている。）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（【1】海岸事業の実施に向けた機運が高い。）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（【2】ハード整備とあわせてハザードマップの作成、防災訓練などソフト施策を実施。（又は実施予定））	○